

## 1. 実体顕微鏡の形式

実体顕微鏡の製造業者・形式	製造業者	株式会社エビデント（旧オリンパス株式会社）
	形式	SZ61
倍率		6.7 倍～45 倍

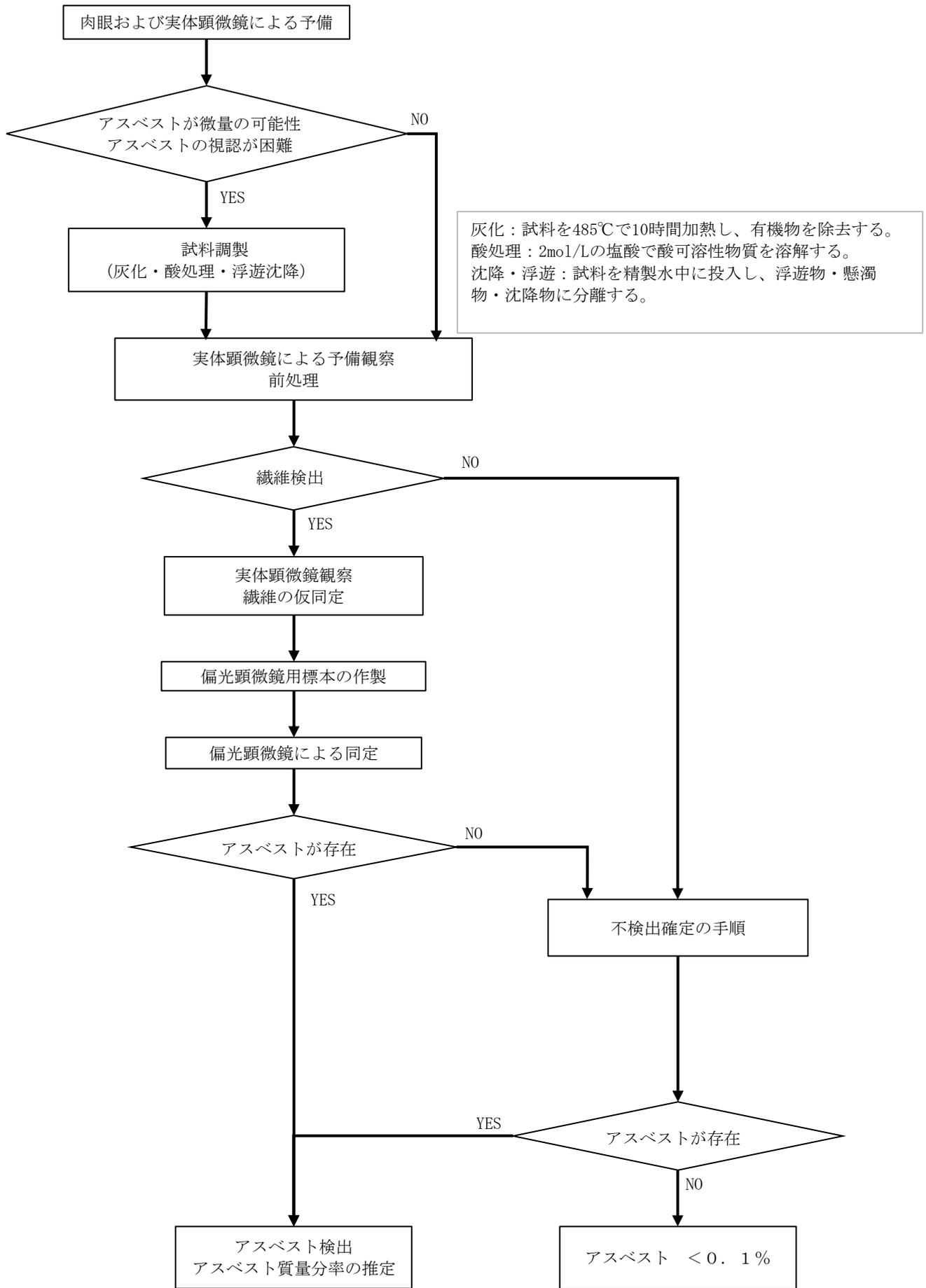
## 2. 偏光顕微鏡の形式

実体顕微鏡の製造業者・形式	製造業者	株式会社エビデント（旧オリンパス株式会社）
	形式	BX53
コンデンサ		ユニバーサルコンデンサ
対物レンズ（倍率）		UPlan FL N 10x/0.30 P（10 倍）、UPlan FL N 40x/0.75 P（40 倍）
分散対物レンズ		Plan N 10x/0.25 DSPH1（10 倍）、UPlan FL N 40x/0.75 DSPH2（40 倍）

## \* 電子顕微鏡の形式

電子顕微鏡の製造業者・形式	製造業者	—
	形式	—
フィラメント		—
加速電圧		—
倍率		—
最大傾斜角		—
EDX検出器の製造業者・形式	製造業者	—
	形式	—

# 【分析の流れ】



【偏光顕微鏡で確認するアスベストの特性】（JIS A 1481-1より抜粋）

SRM 1866 及び SRM 1867参照アスベスト試料の光学特性

特性	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	アンソフィライト	トレモライト	アクチノライト
色	白	灰色-茶色	青	明るい茶色	白	白
多色性	なし	非常に弱い	$\alpha$ : 青色, $\gamma$ : 灰色	なし	なし	なし
複屈折	低い	中度	低い	中度	中度	中度
伸長の 符号	正	正	負	正	正	正
消光	平行	平行	平行	平行	16.6°	15.9°
$\gamma$	1.556	1.701	-a)	1.636	1.634	1.639
$\alpha$	1.549	1.679	-a)	1.615	1.606	1.613

注a) クロシドライトについて、分析証明書は次のように記載している。“可視光の範囲内における強い吸収の結果、分析者にとって有用でないような変則的な分散特性が生じたので、リーベックセン（閃）石については、屈折率の認証値は報告しない。”

HSE参照アスベスト試料の光学的特性

特性	クリソタイル (カナダ)	クリソタイル (ジンバブエ)	アモサイト	クロシドライト	アンソフィライト	トレモライト	アクチノライト
色	白	白	灰色-茶色	青	白	白	うすい緑
多色性	なし	なし	非常に弱い	$\alpha$ : 青色, $\gamma$ : 灰色	なし	なし	$\gamma$ : 緑色, $\alpha$ : 灰色
複屈折	低い	低い	中度	低い	中度	中度	中度
伸長の 符号	正	正	正	負	正	正	正
消光	平行	平行	平行	平行	平行	平行	平行
$\gamma$	1.552	1.552	1.692	1.696	1.624	1.632	1.652
$\alpha$	1.544	1.544	1.676	1.688	1.608	1.616	1.644

注記 HSEの参照アスベスト試料のデータには、“全ての天然鉱物の例にもれず、参照試料も他の鉱物を微量含んでいる。特にアンソフィライト・アスベスト試料は、リボン状の形態と一般的に低い屈折率であるタルクの繊維種を含んでいる。”と注記されている。

UICC参照アスベスト試料の光学的特性

特性	クリソタイル (カナダ)	クリソタイル (ジンバブエ)	アモサイト	クロシドライト	アンソフィライト
色	白	白	灰色-茶色	青	白
多色性	なし	なし	非常に弱い	$\alpha$ : 青色, $\gamma$ : 灰色	なし
複屈折	低い	低い	中度	低い	中度
伸長の 符号	正	正	正	負	正
消光	平行	平行	平行	平行	平行
$\gamma$	1.545~1.560	1.553	1.701	1.702	1.62
$\alpha$	1.545~1.557	1.546	1.679	1.694	1.605

注記1 UICCカナダ・クリソタイル試料にはある幅の屈折率が引用されている。この試料は幾つかの異なった鉱山からのクリソタイルをブレンドして調整された。概略指定範囲内の屈折率をもち、屈折率（ $\gamma-\alpha$ ）が約0.01であるような繊維が存在する。

注記2 アンソフィライトもタルクの繊維種を含む。